

# 高等学校における教室掲示による学習の深化の検討

教育学研究科 教育実践創成専攻 教科領域実践開発コース 中等教科教育分野 芳賀 柁輝

## 1. 背景

昨今、ライフスタイルや社会環境が急激に変化しており、青年期の児童生徒の健康に大きな影響を及ぼしている。絶えず変化する環境によって引き起こされる様々な課題に対応する資質・能力を身につけることが強く求められている。特に、ヘルスリテラシーとよばれる保健に関する考え方も生まれ、保健に対する考え方が重要視されている。学校においても保健学習の重要性は高まっており、保健学習の充実を図ることが必要となっている。だが、高等学校における保健学習では様々な問題が発生している。ある研究<sup>1</sup>では、高校生を対象にアンケートを実施したところ、健康の価値に関する認識状況では、約9.5割の生徒が「健康は何をするにも必要」「健康は何よりも大切」であると回答している。しかし、高等学校での保健学習に対して約3割の生徒が「つまらない」と回答している現状にある。これまでの保健教育では、主に講義形式で知識を伝える授業が中心となっており、この受動的な学習では生徒は学んだ気になるが十分な知識定着はできないということが指摘されている<sup>2</sup>。また、授業時間の制約もあり、すべての内容を十分に指導することが難しい。こうした課題を解決するためには、生徒が自ら考え、主体的に学ぶ機会を増やすことが求められる。そのためには、授業中の理解を深めるための予習が必要となる。予習として教科書を読み授業内でその説明を聞くということを行うと授業内容の理解の促進を図ることが明らかになっている<sup>3</sup>。これに加え、教室掲示には学習のねらいや学習内容を明らかにする効果がある<sup>4</sup>。以上のことより、掲示物を活用した予習を取り入れることで、保健学習において生徒は授業内容をより深く理解しやすくなり、知識定着の促進を図ることができるなどの学習の効果が期待できる。

## 2. 目的

以上のことを踏まえ、本研究では掲示物を活用した予習が知識の獲得に貢献するのかを明らかにすることを目的とする。また、保健授業における授業態度が知識定着度に及ぼす影響に関しても付加的に考察する。

## 3. 方法

### 3-1. 研究対象

この研究はF高等学校第1学年の全3クラス(n=87(男:n=49, 女:n=38))を対象とした。そのうち、介入群(n=60(男:n=36, 女:n=24))と非介入群(n=27(男:n=13, 女:n=14))に分け、以下の研究を実施した。

### 3-2. 研究の流れ

この研究は全5週間の日程で実施した。まずはじめ(11/12)に教室前後それぞれの黒板横に掲示物を設置した。その掲示物を生徒にしっかりと確認させ、その2週間後(11/26)に掲示物の内容に関するレポートを作成させた。レポート作成後、掲示内容に関する授業(12/3 および 12/10)を行ったのち、掲示開始5週間後(12/17)に小テストならびに質問紙調査を実施した。なお、レポートを作成することは生徒に告知を行い、小テストは生徒に告知をせず抜き打ちで行った。その際、授業では生徒が数年前に実際に体験した新型コロナウイルス感染症への対策や症状などに関連させながら授業を進めた。

### 3-3. レポート内容

生徒に作成させたレポートは紙の大きさをB4とした。質問内容は「あなたは、教室に掲示された掲示物を読みましたか？」にははいかいいえで回答させたのち、教室掲示物に関するレポートを作成させた。また、作成されたレポートはこの

単元の評価対象とし、生徒に告知をしてから作成させた。

### 3-4. 小テスト

小テスト(図 1)は紙の大きさを B4 とした。小テストの問題に関してはすべて教科書に記載されているものとし、単語の穴埋め問題を計6つ、記述問題を4つ、5つの感染症を新興感染症か再興感染症に分類させる問題、3つの設定した文が正しいかどうかを丸かバツかで解答する問題を出題した。また、18点満点とした。

### 3-5. 質問紙調査

質問紙調査は16個の質問を5から1の間(5:とてもそう思う, 4:そう思う, 3:どちらでもない, 2:あまりそう思わない, 1:全くそう思わない)で回答させ、3個の質問を自由記述とした。数字選択式の質問のうち、普段の授業に関する質問を質問1から6、授業前に掲示物を読みレポートを作成してから授業をうけたことに対しての質問を質問7から11、自身が体験した新型コ

ロナウイルス感染症と関連させながら授業が進められたことに関する質問を質問12から16とした。自由記述では、「掲示物を読みレポートを作成してから授業をうけたことに関して、あなたはどう思いますか」「自身が体験した新型コロナウイルス感染症と関連させながら授業が進められたことに関して、あなたはどう思いますか」「その他、この授業の形(掲示や体験を基にする授業)の問題点など、ご自由にご記入ください」の3つの質問に回答させた。ここで、質問紙調査に関しては集計を第三者にお願いし、私自身誰が何を書いたのかを分からないようにした。このことは生徒にも告知し、質問紙調査へ回答させた。

### 3-6. 掲示物

教室に掲示したものは、保健授業で用いている教科書(大修館書店、現代高等保健体育)の中の「特設11. 新たなインフルエンザに警戒しよう」(P.50)(図2)ならびに「特設12. 新たな脅威～薬剤耐性菌～」(P.51)(図3)を使用した。また、

- |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>1. 感染症とは、細菌や(1)などの(2)が体内に侵入し、増殖することで発病する病気である。<br/>また、感染から発病までの期間を(3)、感染する力のことを(4)という。</p> <p>2. 新興感染症とはなにか、説明せよ。</p> <p>3. 再興感染症とはなにか、説明せよ。</p> <p>4. 次の感染症(ア～オ)を新興感染症・再興感染症に分類せよ。<br/>ア. マラリア      イ. O157      ウ. 新型コロナウイルス感染症<br/>エ. 結核              オ. 中東呼吸器症候群</p> <p>5. なぜ新興感染症は流行してしまうのか。<br/><u>免疫力・治療方法</u>という言葉を使って説明せよ。</p> | <p>6. 感染症予防の3原則とは、<br/>感染源対策、(5)対策、(6)対策である。</p> <p>7. 次の各文が正しければ○、誤っていれば×を記入しなさい。<br/>① 消毒や滅菌、殺菌は感染経路に対する対策である。<br/>② 抵抗力は予防接種をすることでしか得られることができない。<br/>③ 現代の感染症対策として、適切な情報収集をすることは必要である。</p> <p>8. 予防接種をすることで得られる効果とはなにか。</p> |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

図1. 小テスト出題問題

### 学校生活のコロナ対策

！ 昼食中は会話をしない

！ 着替中もマスク

！ 休憩中もマスク  
水分補給中は除きます

放課後や休日のNGシーンの例

ⓧ 友達の家で遊ばない

ⓧ 友達と会食しない

ⓧ 友達とカラオケに行かない

### 新たなインフルエンザを警戒しよう

人類は、繰り返し感染症に苦しめられてきました。古くはエジプト王朝やローマ帝国での痘そう（天然痘）の流行で、一度に数百万人が亡くなったこともあったとされています。ヨーロッパでは14世紀にペスト（当時は「黒死病」と呼ばれていた）が大流行し、人口の3分の1が死に絶えたといわれています。結核がたくさんの若い命を奪ったことを知っている人も多いでしょう。20世紀にはエイズが発生し、1981年の発見以来、現在までに数千万人が死亡しています。また、最近ではエボラ出血熱（エボラウイルス病）、中東呼吸器症候群（MERS）、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）などが発生し、おそれられています。科学が進歩しても人類はなかなか感染症から逃れられません。

そのなかでとくに心配されているのは、新しい型のウイルスによるインフルエンザの流行です。1918年から1919年にかけて流行した、当時の新しい型のウイルスによるインフルエンザ（通称スペインかぜ）には、全人類の約3割が感染し、死者数は5,000万人とも1億人ともいわれています。また、H5N1型などの強毒型（高病原性）ウイルスによる流行からも目が離せません。

「死の舞踏」と呼ばれる図 14世紀のヨーロッパを襲った「黒死病」による死への恐怖から、人々が半狂乱的に踊り続けたことをモチーフに描かれたといわれる。

スペインかぜの流行 フランスにあるアメリカ陸軍病院のようす。第1次世界大戦の最中に起こったため、参戦していた国々の兵士が数多く命を落とした。

小中学校での感染防止策（複数回答）

| 対策          | 割合 (%) |
|-------------|--------|
| 休み時間の注意     | 100    |
| 座席の距離を離す    | 95     |
| 教科活動の一部中止   | 85     |
| 給食の中止や献立の削減 | 75     |
| 部活動の一部中止    | 65     |
| 短縮授業        | 55     |
| 分散登校        | 45     |

図2. 教室掲示物①

### 新たな脅威～薬剤耐性菌～

#### 1 抗菌薬の誕生

1928年、イギリス人の細菌学者フレミングは、培養していたブドウ球菌にカビが混入し、そのカビのまわりにだけ、ブドウ球菌が増殖していないことに気がつきました。カビが産生する物質にブドウ球菌を殺す作用があることを発見したのです。フレミングは、この物質をペニシリンと名づけ、その後、研究が進み、ペニシリンを粉末状に分離し、人間の感染症に治療効果をもつ「抗菌薬」が誕生しました。ペニシリンの登場により、肺炎や敗血症、梅毒など、これまで治療できなかった多くの感染症の治療が可能になったのです。こうして、日本でも感染症による死亡者は減り続けています。

細菌学者 アレクサンダー・フレミング

#### 2 薬剤耐性菌とは

では、感染症はすでに過去の病気なのでしょうか。じつは、薬剤耐性菌という新しい脅威が生まれているのです。薬剤耐性菌は、ペニシリンなどの抗菌薬を投与しても、死なない細菌のことです。細菌もさまざまな手段を使って薬剤から逃れようとするため、抗菌薬の使用が増えるにつれて、抗菌薬が効かない細菌も増えているのです。薬剤耐性をもった細菌が、人間や動物を介して世界中に広がると、かつて、痘そうやペストで多くの人々が死亡した時代に逆戻りすることになります。実際、2050年には、世界中で1,000万人が薬剤耐性菌で死亡し、がんによる死亡者数を超えるという予測もあるのです。WHOは2011年に“No action today, no cure tomorrow（今日動かなければ、明日の治療はない）”と宣言し、薬剤耐性菌を世界中で取り組むべき課題としました。

薬剤耐性菌は「賢い」ような流れで生まれます。抗菌薬を使用すると必ず薬剤耐性菌が生まれるわけではありませんが、抗菌薬を使う機会が多いほど、発生の可能性は高まります。

#### 薬剤耐性菌が発生するしくみ

**国内で承認された新型コロナウイルスワクチン**

| 承認時期     | ファイザー(米)                         | モデルナ(米)                          |
|----------|----------------------------------|----------------------------------|
| 2021年2月  | mRNA型。その後、オミクロン株にも対応。今秋開始接種で使用予定 |                                  |
| 5月       |                                  | mRNA型。その後、オミクロン株に対応に、今秋開始接種で使用予定 |
|          |                                  | アストラゼネカ(英)                       |
|          |                                  | ウイルスベクター型。22年9月に使用終了             |
| 22年4月    |                                  | ノババックス(米)                        |
|          |                                  | 組み換えたんぱく質型。従来株対応                 |
| 6月       |                                  | ジョンソン・エンド・ジョンソン(米)               |
|          |                                  | ウイルスベクター型。その後、承認廃止               |
| 23年7月31日 |                                  | 第一三共(日)                          |
|          |                                  | mRNA型。従来株対応                      |

新型コロナウイルスワクチン接種後 副反応の発生率

| 接種箇所      | ファイザー |      | モデルナ |      |
|-----------|-------|------|------|------|
|           | 1回目   | 2回目  | 1回目  | 2回目  |
| 接種率       | 77.8  | 72.6 | 83.7 | 88.2 |
| 痛み        | 41.5  | 55.5 | 37.2 | 65.3 |
| 疲労        | 34.5  | 46.1 | 32.7 | 58.6 |
| 筋肉痛       | 18.0  | 33.5 | 22.7 | 58.0 |
| 関節痛       | 9.9   | 20.5 | 16.6 | 42.8 |
| 悪寒        | 10.6  | 29.6 | 8.3  | 44.2 |
| 発熱(38度以上) | 2.7   | 13.6 | 0.8  | 15.5 |

※海外での臨床試験の結果より

図3. 教室掲示物②

そこにニュース記事を付随させ掲示物とした。

「新たなインフルエンザを警戒しよう」のニュース記事は、「学校生活のコロナ対策(東京都教育委員会)<sup>5</sup>」「分散登校や短縮授業4割 公立小中、学びの質が課題に(日本経済新聞)<sup>6</sup>」を利用した。「新たな脅威～薬剤耐性菌～」のニュース記事は、「副反応をどう考える?(宮崎日日新聞)<sup>7</sup>」「自己増殖型」コロナワクチン 治験結果を公表(朝日新聞)<sup>8</sup>」を利用した。

## 4. 結果

### 4-1. 小テスト

#### 4-1-1. 平均点

平均点は以下の通り(図4)である。介入群の平均点は12.28点、非介入群の平均点は10.37点、群間の差はおおよそ2点であった。

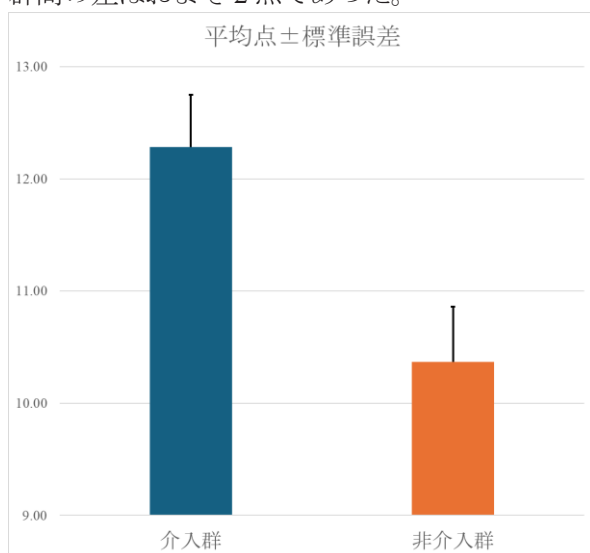


図4. 平均点±標準誤差

#### 4-1-2. 正答率

各問題における正答率は以下の通り(図5)である。ここで、問題4に関しては、別途結果を示すこととする。ほとんどの問題において介入群は正答率が高くなっている。また、問題2や3、5など記述をして解答する問題では群間で大きな差が生まれている。

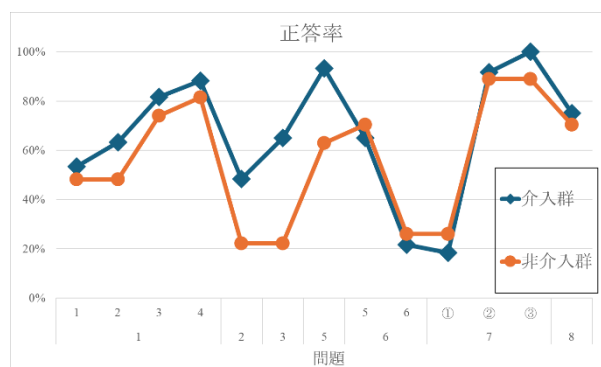


図5. 正答率

#### 4-1-3. 誤謬率

各問題の誤謬率は以下の通り(図6)である。こちらも問題4は別途結果を示す。ほとんどの問題において介入群は誤謬率が低くなっている。しかし、各問題においてさほど差は生まれない結果となった。

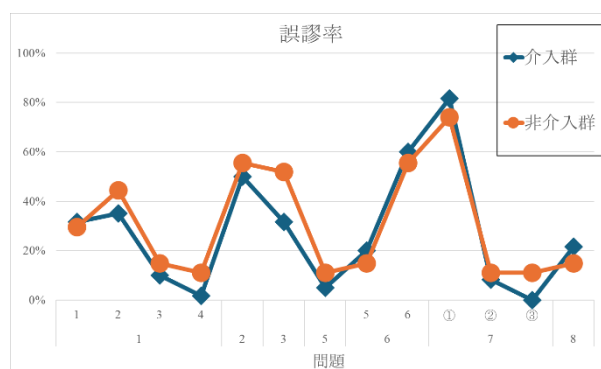


図6. 誤謬率

#### 4-1-4. 空欄率

各問題において解答を空欄で提出した生徒の割合は以下の通り(図7)である。問題2や3、5、8の記述式の問題では、介入群と非介入群の間で大きな差が生まれており、介入群は記述式の問題に対し空欄率が低くなっている。その他の問題に関しては大きな差はなかった。

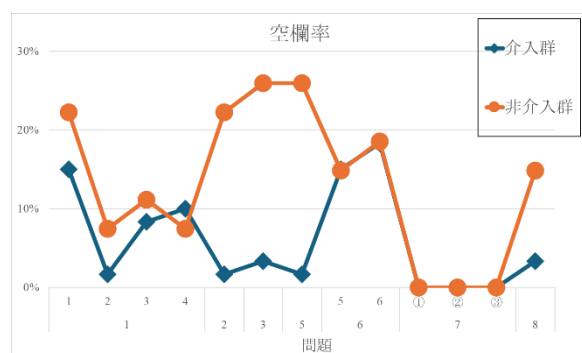


図7. 空欄率

#### 4-1-5. 問題4

問題4の結果に関して、平均点(図8)は以下の通りである。平均点に関しては、介入群は3.58点、非介入群は3.11点であり、群間は約0.5点の差であった。得点者分布に関しては、群間で3得点者と2得点者の割合が大きな差であった。その他はさほど大きな差はなかった。

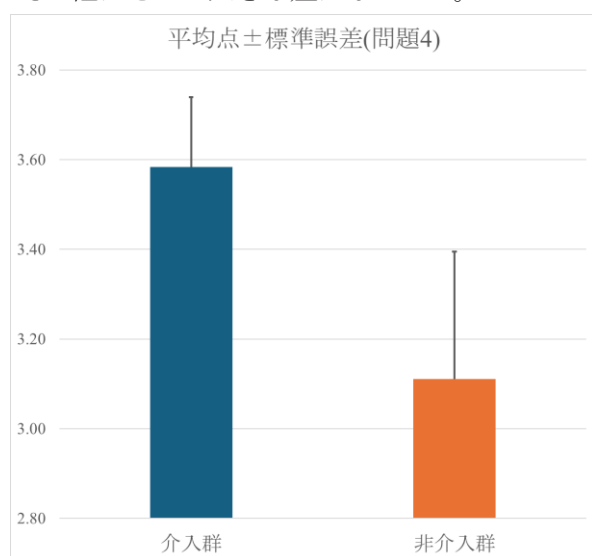


図8. 平均点±標準誤差(問題4)

## 4-2. 質問紙調査

### 4-2-1. 普段の授業に関する質問

普段の授業への質問に対する回答を表1に示した。質問1, 2, 3, 5, 6では肯定的な意見を持っている生徒が約8割と、とても多いことが明らかになった。また、質問4では授業内で学ぶ量は大変ではないという意見を約4割の生徒が持っていることが明らかになった。

### 4-2-2. 授業前に掲示物を読みレポートを作成してから授業をうけたことに関する質問

授業前に掲示物を読みレポートを作成してから授業をうけたことへの質問に対する回答を表2に示した。質問9を除くそれぞれの質問に対し、肯定的な意見を持っている生徒が約9割という結果になった。質問9においては、約6割の生徒は話合いが活発になったと感じていることが明らかになった。

### 4-2-3. 自身が体験した新型コロナウイルス感染症と関連されながら授業が進められたことに関する質問

自身が体験した新型コロナウイルス感染症と関連されながら授業が進められたことへの質問に対する回答は表3に示した。質問14を除くそれぞれの質問に対し、肯定的な意見を持っている生徒が約9割という結果になった。質問14においては、約8割の生徒は話合いが活発になったと感じていることが明らかになった。

### 4-2-4. 質問17

質問17では「授業前に掲示物を読みレポートを作成してから授業をうけたことに関して、あなたはどのように思いますか」という質問に対し自由記述にて回答してもらった。その結果を表4に示した。「理解しやすかった」「授業に入りやすかった」など肯定的な意見が多かった一方、「レポートを書くことが難しかった」「掲示物を見る時間がなかった」などの意見もあった。また、「良い評価の仕方である」「努力の差がついてよかった」などの視点からの意見もあった。

### 4-2-5. 質問18

質問18では、「自身が体験した新型コロナウイルス感染症と関連されながら授業が進められたことに関して、あなたはどのように思いますか」という質問に対し自由記述にて回答してもらった。その結果を表5に示した。「自身が体験したからこそ理解しやすかった」「より身近に感じる事ができた」など肯定的な意見が多い一方で「別にないとも思わない」などの意見も見受けられた。

表 1.

| 普段の授業に関して、                      |     |     |     |     |     |
|---------------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|
|                                 | 5   | 4   | 3   | 2   | 1   |
| 1 授業内のスライドは見やすく、工夫されている。        | 55% | 38% | 7%  |     |     |
| 2 プリントは見やすく整理されており、後で見てもわかりやすい。 | 60% | 35% | 5%  |     |     |
| 3 授業内の説明や指示・発問はわかりやすい。          | 58% | 37% | 5%  |     |     |
| 4 授業で学ぶ内容量が、多く大変だと感じる。          | 13% | 22% | 27% | 28% | 10% |
| 5 学習内容について、力がついたと感じる。           | 23% | 50% | 25% | 2%  |     |
| 6 授業中に、考えたり活動したりする機会が多い。        | 38% | 42% | 15% | 5%  |     |

表 2.

| 授業前に掲示物を読み、レポートを作成してから授業をうけたことに関して、 |     |     |     |    |   |
|-------------------------------------|-----|-----|-----|----|---|
|                                     | 5   | 4   | 3   | 2  | 1 |
| 7 教科書の内容を理解しやすかった。                  | 35% | 42% | 17% | 7% |   |
| 8 感染症というものを身近に感じる事ができた。             | 48% | 43% | 8%  |    |   |
| 9 話合いの場が活発になったと思う。                  | 32% | 33% | 27% | 8% |   |
| 10 現代の感染症に関して、理解しやすかった。             | 42% | 50% | 7%  | 2% |   |
| 11 感染症の予防に関して、理解しやすかった。             | 42% | 47% | 10% | 2% |   |

表 3.

| 自身が体験した新型コロナウイルス感染症と関連されながら授業が進められたことに関して、 |     |     |     |    |   |
|--------------------------------------------|-----|-----|-----|----|---|
|                                            | 5   | 4   | 3   | 2  | 1 |
| 12 教科書の内容を理解しやすかった。                        | 50% | 43% | 7%  |    |   |
| 13 感染症というものを身近に感じる事ができた。                   | 57% | 40% | 3%  |    |   |
| 14 話合いの場が活発になったと思う。                        | 35% | 40% | 23% | 2% |   |
| 15 現代の感染症に関して、理解しやすかった。                    | 45% | 47% | 8%  |    |   |
| 16 感染症の予防に関して、理解しやすかった。                    | 43% | 48% | 8%  |    |   |

表 4.

|                                                                                                  |                                                                      |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|
| 17 掲示物を読みレポートを作成してから授業をうけたことに関して、あなたはどのように思いますか。                                                 | 思い出しながらやることはむずかしいと感じた。                                               |
| 事前に内容に触れることで授業にスムーズに入ることができると思った。                                                                | 実際に自分でレポートを書いてみることは思ったよりも難しかった。                                      |
| 最初にざっくりと知っておいたので、授業の内容がすんなりと入ってきて普通の授業よりも理解が深まった。                                                | まだ少ししかレポートは書いたことがなかったので、授業でレポートを書くことは良い機会になったと思う。                    |
| 掲示物をそこまで読んでおらず、レポートは自分知っている感染症だけでまとめてしまった。                                                       | 一度レポートを作成することによってすぐ考え、悩むので、その分興味がわいたと思う。                             |
| 覚えようとする気持ちが強く、理解がしやすかった。                                                                         | 掲示物をもっと見ればよかった。                                                      |
| 事前に掲示物を読んだが、体験談を変えたことによって意外と書くことができた。                                                            | レポートをしっかりと頭に入れながらできた。                                                |
| より深く感染症のことを知れて勉強になった。                                                                            | 理解が深まったと思います。                                                        |
| 教科書に書いていないことも掲示物に選いたので、より深い勉強ができた。                                                               | 分かりやすくていいと思った。保健は苦手でも新しい言葉覚えたりできたからこのまま続けてほしい。                       |
| あまりたくさんレポートを書くことができなかったが、ウイルスや予防などを知れてよかった。                                                      | ほんの少ししか見ていなかったからあんまりわからなかった。                                         |
| レポートを作成してから授業をうけることで授業内容と一緒にすることができた。                                                            | とても良いレポート作成ができた。                                                     |
| ある程度予備知識を入れながらできた。                                                                               | 学びが深まって良いと思う。                                                        |
| しっかり見てからやったので、いつもより言っていることがわかった。                                                                 | レポート難しかった。                                                           |
| 見ている人と見ていない人がはっきり分かれるので良い評価の仕方だと思う。                                                              | 今後どのような感染症になるかわからないし、授業を通して感染症の対策をしようと思った。                           |
| とてもちゃんと読んでいる人と読んでいない人で努力の差がついてよかった。                                                              | 掲示物のことを忘れてしまいがちになった。                                                 |
| 人間は常に感染症と隣り合わせだと思う。医療の技術が上がってもコロナのような感染症もあるのでもっと恐ろしく感じた。                                         | レポートを書いてから授業に入ったことで、導入がとてもわかりやすく、とても理解しやすかった。                        |
| 掲示物はしっかりと読んでいたし、レポートを書いたからそのあとの授業ではなんとなく理解できた。                                                   | また、自分の考えと比較しながらできたので、考えを深めることができた。                                   |
| 掲示物を読んで自分でその内容をまとめると、その後の授業がとても学びやすくなりとてもよかったと思います。                                              | 現代の感染症や感染症の恐ろしさについて深く学ぶことができた。                                       |
| 掲示物だとあまり頭に入らないと思った。プリントなどにした方が良かったと思った。                                                          | どうとも思わない。                                                            |
| 他の授業にはない新しい取り組みだと思いました。                                                                          | とてもわかりやすく感じた。                                                        |
| 自分から積極的に掲示物を見ている人もいて、私も見なきゃと自発的に動きました。                                                           | レポートを書く力がついた。                                                        |
| レポートを書くことで授業を受ける前に少しでも理解しておくことで授業の内容がいつもより分かった気がした。                                              | 特に何も思わない。                                                            |
| とても良いと思う。                                                                                        | 事前に学習しておくことで授業の内容がわかりやすくなったと思いました。                                   |
| レポートやその後の授業をうけて、とても分かりやすくなった。                                                                    | 掲示物を読む時間がなかったから次からは配ってほしい。                                           |
| 小・中で行われていた感染症対策について、薬の効果のことなど自分ではなんとなくこのような効果があるからこういう対策をしているのだと思っていましたが、授業とレポートにより理解を深めることができた。 | 自分なりにかみ砕いて理解したことの確認のような感じもあってとても分かりやすかった。                            |
| 授業に入りやすかった。前もってそのことを学ぶことで集中して受けることができた。                                                          | 掲示物を読まない人がいたのは残念に思う。                                                 |
| あまり掲示物を読めなかったので少しは先に知ることができたけれどあまり変わらなかった。                                                       | 授業では教えてもらっていないことなど、色々なことを知る機会になった。                                   |
| 少しだけわかりやすかった。                                                                                    | 自分の感染症に対する知識などが分かっていいと思う。                                            |
| 内容もとても興味のあるものだったし、図やイラストがあってとても良い知識になった。                                                         | 掲示物は毎日しっかりと確認する時間はあまりないので、あまり記憶に残らない。                                |
| 自分で内容をまとめてから授業をし、とても深く学べたと思う。                                                                    | いいと思った。あまりたくさん文字を書く機会がいらないから作文や感想を書くときの練習になった。                       |
| 良かったと思う。                                                                                         | 感染症についての理解が深まった。                                                     |
| 自分なりにまとめやすかったと感じた。どんな感染症があったのかなどを知ることができた。                                                       | 感染症は私たちの生活の中でも身近なことなので、感染症に対しての知識が身に付き、もっと感染症について知りたいと思えるすばらしい授業だった。 |
| 新感覚で面白かった。あまりやらないことなのでとても大変であった。                                                                 |                                                                      |

表 5.

|    |                                                        |                                                 |
|----|--------------------------------------------------------|-------------------------------------------------|
| 18 | 自身が体験した新型コロナウイルスと関連されながら授業が進められたことに関して、あなたはどのように思いますか。 |                                                 |
|    | 感染症の対策が分かりやすくなっていた。                                    | 自分が体験したことを通して話合いができたし、コロナと関連づけて考えられたので分かりやすかった。 |
|    | 自分の経験を生かさせて楽しかった。                                      | 自分のしてきた対策やそれ以外について考えやすかったと思う。                   |
|    | 体験したことがあるので考えやすくてよかった。                                 | 思い出しながら学んだため結構分かりやすかった。                         |
|    | 身近に感じることができ改めてウイルスの危険性や特性をすることができたのでよかった。              | 自分と照らし合わせながら授業をうけてとても良いと思った。                    |
|    | 感染予防や種類について知ることができたのでよかった。                             | 自分がやっていた対策がどのような分類に入るのかを学ぶのに適していると思う。           |
|    | 自分はコロナにかかったことがないので、コロナにかからないように気を付けていきたい。              | 実際に体験したことだから、授業の内容が頭に入りやすかった。                   |
|    | 自分自身もなったことだから、授業が理解しやすかった。                             | すごくいいと思った。関連されながら学ぶことで頭に残る。                     |
|    | とても懐かしかった。次またコロナが流行したらもっとしっかり対策できるようにしたいと思った。          | 納得することが多くて良い。                                   |
|    | 自分が体験したことをクラスの人に共有したりできてよかった。                          | コロナで制限されたり変更がたくさんあったので、とても苦しい思いをしたことを実感した。      |
|    | コロナというウイルスが流行したことを忘れないようにこういう授業が大切だと思った。               | 自分が感染しないようにどうすればいいのかわかった。                       |
|    | 身近に考えることができた。                                          | 振り返ることができ、少し緩んでいたところを締めなおすことができた。               |
|    | 交流がより深められた。                                            | 身近な例が出されたことで、教材を身近に感じることができた。                   |
|    | 自分もかかったことがあってちゃんと予防接種を受けることの大切さを理解できた。                 | 体験したことを基に授業が進んでいったのでわかりやすかった。                   |
|    | 自分も大変な時期をすごしたんだと改めて思った。                                | どうとは思わない。                                       |
|    | 自分がコロナにかかったこともあったし、とても身近なので納得がいく授業だった。                 | 振り返りながら授業をうけたのでより理解ができた。                        |
|    | 自分が体験したことを再度繰り返し学べて勉強になった。                             | 自分も実際にコロナになったことがあるので、とても共感することができた。             |
|    | より身近なものに感じられた。                                         | 体験したことがあったので、授業の内容がわかりやすかった。                    |
|    | 自分事として考えて授業をうけることができました。                               | 自分が体験したことと理解するのが簡単だった。                          |
|    | 今までコロナで制限された生活について話合ったことで                              | コロナについて知ってはいただけより詳しいことが知れてよかった。                 |
|    | とれだけ新興感染症が恐ろしいものだということがわかった。                           | コロナは身近にあるウイルスの一つのため、改めて学ぶのはいいと思った。              |
|    | とてもわかりやすく、身近に感じることができた。                                | 自分が体験したことと照らし合わせながら授業を受けて、改めてコロナについて知れた。        |
|    | 自分の体験から考えることが多く、集中して話をきけた。                             | 自分の体験を振り返って、より理解を深めて興味もわいた。                     |
|    | 中学校で体験したので、いつもより詳しく知ることができた。                           | 流行しているときだけ感染症対策をするのではなく、常に対策し続けなければならないと思った。    |
|    | とても身近なものだったからこそ、興味と関心が高かった。                            |                                                 |

表 6.

|    |                                             |
|----|---------------------------------------------|
| 19 | その他、この授業の形（掲示や体験を基にする授業）の問題点など、ご自由にご記入ください。 |
|    | とてもわかりやすく、楽しく学べた。                           |
|    | レポートを書くのはいいが、誤った情報を意図せず書いてしまいそうだった。         |
|    | 掲示物の内容が少し難しかった。                             |
|    | 話合いをもっと多くしてほしい。                             |
|    | 授業のやり方はわかりやすいのでとてもありがたい。                    |
|    | 掲示物に関するものはやめてほしい。                           |
|    | 社会の動きや色々な情報と関連づけて授業をすることはとても楽しく学びやすい。       |
|    | 今後もこのような授業がうけられればいいなと思った。                   |

4-2-6. 質問 19

質問 19 では、「その他、この授業の形(掲示物や体験を基にする授業)の問題点」を自由記述にて回答してもらった。その結果を表 6 に示した。その中で「掲示物を使ったものはやめてほしい」という意見が見受けられた。

5. 考察

5-1. 知識定着

小テストの平均点(問題 4 も含む)や得点率より、介入群の方が非介入群よりも得点が取れていることが明らかになった。また、問題 1-1,2,3,4 や問題 3 などにおいては誤謬率も介入群の方が低くなっている。このことから、授業前に掲示物を用いた予習を行うことにより、生徒へ学習内容に関する知識定着を促すことができたのではないかと考えられる。

また、問題 2 や 3, 5, 8 の記述をして解答をする問題では、介入群の方が圧倒的に低い割合になっていることが明らかになった。つまり、予習においてレポートを書くという行為を行った群の方が記述式の問題に対し空欄率が低くなっているのである。このことから、予習においてレポートを書くという行為を行ったことにより、知識定着を促進させることができ、また自分の考えを文章で表す思考判断表現の面における能力も身につけることができたのではないかと考えられる。

それに加え、質問紙調査における質問 7・12 では「理解しやすい」と回答した生徒が約 8 割いたこと、質問 8・13 では「身近に感じた」と回答した生徒が約 9 割いたことから、掲示物を活用した予習を行ったことにより、学習内容を身近に感じることができ、それが学習内容の理解につながったのではないかと考えられる。

このことから、掲示物を活用した予習を行

ったことにより生徒へ学習内容の知識定着を促すことができたと考えられる。

## 5-2. 授業態度

質問紙調査において、質問9では約7割の生徒が「話し合いが活発になった」と感じたことが明らかになった。また、質問17では、「自発的に学ぶことができた」「興味がわいた」「集中できた」などの意見があった。このことから、掲示物を活用した予習を行ったことで学習内容を前もって理解でき、授業に積極的に参加する生徒が増加した。この介入により、その積極的に学びに向かう態度が学習内容の知識定着の促進につながったのではないかと考えられる。

## 6. まとめ

この研究は掲示物を読みレポートを書くという予習を行った後、単元の学習を行うというものであった。その掲示物を活用した予習を行ったことにより、生徒へ学習内容の知識定着を促進させることが可能であることが明らかになった。また、その背景には、前もって学習内容を把握できたことで得られた学びに向かう態度が関係していることも明らかになった。

## 7. 参考文献

- 青柳直子, 高等学校における保健学習の現状と課題, 茨城大学教育実践研究, 34, 123-130, 2015
- Louis Deslauriers, Logan S. McCarty, Kelly Miller, and Greg Kestin. Measuring actual learning versus feeling of learning in response to being actively engaged in the classroom. *Proceedings of the National Academy of Sciences*, 116(39), 19251-19257
- 篠ヶ谷圭太, 予習が授業理解に与える影響とそのプロセスの検討, 教育心理学研究, 56, 256-267, 2008
- 井上正弘, 子どもにはたらきかける教室環境づくりについての研究, 兵庫県教育委員会研究紀要, 107, 39-48, 1995
- 東京都教育委員会, 「学校生活のコロナ対策」, 東京都教育委員会サイト, 20210803 公開, (20250204 参照)  
[https://www.metro.ed.jp/kasaikoka-h/news/2021/08/newsentry\\_32.html](https://www.metro.ed.jp/kasaikoka-h/news/2021/08/newsentry_32.html)
- 日本経済新聞社, 「分散登校や短縮授業4割 公立小中、学びの質が課題に」, 日本経済新聞サイト, 20200616 公開, (20250204 参照)  
<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO60428750W0A610C2MM8000/>
- 宮崎日日新聞社, 「副反応をどう考える」, 宮崎日日新聞サイト, 20210706 公開, (20250204 参照)  
<https://www.themiyonichi.co.jp/special/health/covid19/knowledge.php?num=117>
- 朝日新聞社, 「「自己増殖型」コロナワクチン 治験結果を公表」, 朝日新聞 web サイト, 20230816 公開, (20250204 参照)  
<https://www.asahi.com/articles/ASR8H3WFHR8GPLBJ001.html>